カリキュラムマップ　A領域 教職教養領域 （令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																							
				教職論	教育学部で学ぶこと	教育原論	学校教育心理学	教育社会学概説	教育経営・法規	教育課程論	道徳教育指導論	特別活動指導論	教育の方法および技術（情報通信技術の活用を含む）	生徒指導論・進路指導論	教育相談の理論と実際	特別支援教育基礎	総合的な学習の時間指導法	個を大切にするための心理学	心理学概論	山陰地域の教育課題	学校の“今”を学ぶ―教育の理論と実践を結ぶ―	学校教育のためのＳＤＧｓ	グローバル教育入門	グローバル教育Ａ	グローバル教育Ｂ	グローバル教育Ｃ	グローバル教育Ｄ	教職実践演習
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○		○		○	○	○	○					○					○							
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○		○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。		○			○				○						○		○	○	○	○	○	○	○	○	
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。	○				○	○	○																		
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。			○			○					○	○													
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。	○	○	○	○	○	○			○		○	○							○	○	○	○	○	○	
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。				○	○										○		○								
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○						○	○			○			○	○		○	○			
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。		○		○	○						○	○			○			○			○	○			
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。								○										○							
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。										○				○			○	○	○						
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。								○		○								○							
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。				○				○	○								○	○							
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。				○				○						○				○							
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。								○										○							
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。	○			○				○	○		○	○	○		○	○	○	○							
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。				○		○			○		○	○	○		○	○	○	○							
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。				○						○					○	○		○							
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。		○							○	○				○				○	○						

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 小学校教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	学校教育実践学原論	初等教育実践基礎A	初等教育実践基礎B	初等教育実践基礎C	初等教育実践基礎D	初等教育実践基礎E	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等英語科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	授業実践研究	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○	○	○				○																○		○		
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○	○	○	○	○	○																	○		○		
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○			○		○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○																					○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○	○	○	○	○	○																					
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。	○	○				○																					
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。		○	○			○																					
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。		○		○		○				○										○		○						
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。											○			○		○					○							
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。		○				○			○		○		○	○		○					○	○						
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。				○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。					○			○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。										○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。												○											○					
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。				○	○					○							○	○		○	○	○	○	○	○	○		
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																			○		○	○						
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。				○						○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。	○			○	○	○				○		○	○			○	○		○	○				○		○		
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。				○													○					○				○		
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。										○	○		○				○	○	○	○				○		○		○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 特別支援教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																
				特別支援教育総論	知的障害児心理・病理研究	肢体不自由児心理・病理研究	病弱児心理・病理研究	知能・認知発達アセスメント法	特別支援心理・病理特殊講義	知的障害児教育研究	肢体不自由児教育研究	病弱児教育研究	特別支援教育総合演習	発達障害教育実践研究	発達障害教育実践演習	視覚障害児教育総論	聴覚障害児教育総論	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等英語科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○									○																								
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○									○																								
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。						○					○	○																						○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○					○	○																						○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○					○	○	○	○	○																								○
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。	○					○	○	○	○	○																								○
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。	○																																	○
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。	○										○	○																						○
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○					○																								○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。					○					○																								○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。							○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。							○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。							○	○	○															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。							○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。							○	○	○															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。							○	○	○		○	○												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。		○	○	○	○						○	○																						
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。		○	○	○	○																													
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。	○						○	○	○				○	○																				
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。	○						○	○	○				○	○																				

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 国語科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																									
				日本語学Ａ：日本語概説	日本語学Ｂⅰ：日本語史	日本語学Ｂⅱ：日本語史	日本文学史Ａ：日本古典文学史	日本文学史Ｂ：日本近代文学史	日本文学演習Ａⅰ：古典文学講読	日本文学演習Ａⅱ：古典文学研究	日本文学演習Ｂⅰ：近現代詩研究	日本文学演習Ｂⅱ：近現代小説研究	日本文学特殊講義Ａ：古典文学	日本文学特殊講義Ｂ：近代文学	日本文学特殊講義Ｃ	漢文学基礎講義	漢文学演習	漢文学講義	書写演習Ⅰ	書写演習Ⅱ	中等国語科教育法概説	国語科コミュニケーション教育	国語科教材開発	国語科授業設計	国語科教育臨床	国語科教育実践	日本語学内容構成基礎研究	日本文学内容構成基礎研究Ａ：古典文学	日本文学内容構成基礎研究Ｂ：近代文学	漢文学内容構成基礎研究	書写内容構成基礎研究	語彙・文法教材研究	日本文学教材研究Ａ：古典文学	日本文学教材研究Ｂ：現代文学	漢字・漢文教材研究	書写教材研究	書道実習Ａ	書道実習Ｂ	書道実習Ｃ	書道演習Ａ	書道演習Ｂ	書道演習Ｃ	書道史	書論	書道科教育法概説	書道科教育法演習	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																											
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																	○																									
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○			○	○	○												○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。																																											○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																																											
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																																											
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																																											
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																																											
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。															○																												
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。															○					○																							
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識・技能を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識・技能を有し，授業等で実践できる。								○	○		○					○	○		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																	○	○	○	○									○	○	○										○	○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。					○			○													○																						
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																						○																					
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																							○																				
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																		○																									
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																																											
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																																											
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。																		○	○	○																							

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 英語科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4 英語コミュニケーションAⅠ：英会話	英語コミュニケーションAⅡ：英会話	英語コミュニケーションAⅢ：英会話	英語コミュニケーションAⅣ：英会話	英語コミュニケーションBⅠ：英作文	英語コミュニケーションBⅡ：英作文	英語コミュニケーションBⅢ：英作文	英語コミュニケーションBⅣ：英作文	英語コミュニケーションCⅠ：実践演習	英語コミュニケーションCⅡ：実践演習	英語学AⅠ：概説	英語学AⅡ：概説	英語学BⅠ：音声学	英語学BⅡ：音声学	英語学CⅠ：意味論・語用論	英語学CⅡ：意味論・語用論	英語学D：英語史	英語学E：統語論	英語文学AⅠ：概説	英語文学AⅡ：概説	英語文学BⅠ：鑑賞・批評	英語文学BⅡ：鑑賞・批評	異文化理解A：異文化の交流と理解	異文化理解B：異文化理解研究	英語科教育学AⅠ：概説	英語科教育学AⅡ：授業設計	英語科教育学BⅠ：学習者支援	英語科教育学BⅢ：コミュニケーション研究	英語科教育学C：研究法	英語科内容構成研究A：教材研究	英語科内容構成研究B：模擬授業	英語科内容構成研究C：実践研究	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																								○								
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																								○			○			○		
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。					○	○						○	○	○	○	○			○	○	○					○		○	○		○		○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。					○	○						○			○	○											○	○				○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																						○	○									
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																								○	○							
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。										○														○			○					
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																						○	○									
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																															○	
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。																															○	
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。									○																	○						
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。									○																○				○	○		
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。									○																						○	
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																									○			○				
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																															○	
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																						○	○			○						
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																						○	○			○						
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																										○		○				
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。							○	○																	○						○	

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 社会科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

| 階層1 | 階層2
ディプロマポリシー（DP） | 階層3 | 達成目標 | 階層4 | | |

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 数学科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																											
				線型代数学Ⅰ	線型代数学Ⅱ	代数学Ⅰ	代数学Ⅱ	幾何学Ⅰ	幾何学Ⅱ	幾何学続論A	幾何学続論B	微分積分学Ⅰ	微分積分学Ⅱ	微分積分学Ⅲ	関数論	確率論・統計学Ⅰ	確率論・統計学Ⅱ	応用数学概論Ⅰ	応用数学概論Ⅱ	コンピュータⅠ	コンピュータⅡ	情報数学Ⅰ	情報数学Ⅱ	数学科教育法概説Ⅰ	数学科教育法概説Ⅱ	数学科教育法特講	数学科教育法臨床	数学科内容構成特論A	数学科内容構成特論B	数学科内容構成研究	数学科内容構成実践	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																												
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																												
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。																										○	○	○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																												
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																			○	○	○	○						
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																												
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																					○	○						
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																							○	○	○	○	○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。																							○	○	○	○	○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。																					○	○	○	○	○	○	○	○
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																			○	○	○	○						
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																												
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																						○						
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。					○								○			○	○				○	○	○	○			○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 理科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	物理学Ⅰ	物理学Ⅱ	物理学演習	物理学基礎実験Ⅰ	物理学基礎実験Ⅱ	化学Ⅰ	化学Ⅱ	化学演習	化学基礎実験Ⅰ	化学基礎実験Ⅱ	生物学A	生物学B	生物学演習	生物学基礎実験Ⅰ	生物学基礎実験Ⅱ	地学Ⅰ	地学Ⅱ	地学演習	地学基礎実験Ⅰ	地学基礎実験Ⅱ	理科教育法概説	理科教育法臨床研究	理科教育学特講	理科教育観察・実験法	理科教育演習	理科内容構成研究Ⅰ（物質エネルギー科学）	理科内容構成研究Ⅱ（生命地球科学）	理科内容構成研究Ⅲ（総合）	自然科学史特講	理科教育研究法演習	理科教育論文講読演習	フィールド科学実習	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																					○	○	○	○	○								○
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																					○	○	○	○	○								○
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。																						○	○	○									○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																					○	○	○	○	○								○
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。				○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。			○					○					○					○							○				○			○	○
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。				○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。				○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																										○	○	○					○
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																										○	○	○					○
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																										○	○	○					○
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																										○	○	○					○
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。	○	○				○	○				○	○				○	○					○	○	○		○	○	○					○
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																										○	○	○					○
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 保健体育科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。

階層4																																								
スポーツ哲学	スポーツ史	スポーツ社会学	スポーツ心理学	スポーツ心理学演習	スポーツ心理学実験	運動生理学	運動生理学演習	運動生理学実験	スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス演習	スポーツバイオメカニクス実験	スポーツ指導論	テニス（理論）	栄養学	公衆衛生学	救急処置法	学校保健	健康教育学演習	体操・器械運動	陸上競技	ダンス・からだほぐし	水泳	柔道	剣道	サッカー	バスケットボール	バレーボール	テニス・卓球・バドミントン	ソフトボール	スキー	野外活動	テニス（応用）	体操・ダンス教材研究	陸上・球技教材研究	武道教材研究	健康教育教材研究	保健体育科教育法概説Ａ（体育）	保健体育科教育法概説Ｂ（保健）	保健体育科教育法臨床	保健体育科教育法特講	卒業研究
																																				○	○	○	○	
																																				○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																						○
					○			○			○																				○									○
													○																							○	○		○	
													○																							○	○	○		
													○																						○	○	○		○	
		○	○									○	○		○																	○								
																○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○					
																			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	
													○														○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	
												○	○															○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	
																		○										○					○	○	○	○			○		
													○					○														○	○		○	○	○	○	○		
																		○														○	○	○	○	○				○	
													○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○		
													○					○	○											○		○	○	○		○	○	○	○	○	
																		○														○	○		○		○	○	○		○
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○								○	○		○		○	○		○		○	○	○		○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［音楽科教育専攻］（令和6年度入学生用）

| 階層1 | 階層2
ディプロマポリシー（DP） | 階層3 | 達成目標 | 階層4
ソルフェージュ | 声楽基礎演習 | 声楽応用演習Ⅰ | 声楽応用演習Ⅱ | 合唱Ⅰ | 合唱Ⅱ | 合唱Ⅲ | 合唱Ⅳ | オペラ・オラトリオ概説 | ピアノ基礎演習 | ピアノ応用演習Ⅰ | ピアノ応用演習Ⅱ | 弦楽器基礎演習 | 弦楽器応用演習Ⅰ | 弦楽器応用演習Ⅱ | 管楽器基礎演習 | 管楽器応用演習Ⅰ | 管楽器応用演習Ⅱ | 打楽器基礎演習 | 打楽器応用演習Ⅰ | 打楽器応用演習Ⅱ | 伴奏演習 | 合奏Ａ Ⅰ（オーケストラ） | 合奏Ａ Ⅱ（オーケストラ） | 合奏Ａ Ⅲ（オーケストラ） | 合奏Ａ Ⅳ（オーケストラ） | 合奏Ｂ Ⅰ（ウインドアンサンブル） | 合奏Ｂ Ⅱ（ウインドアンサンブル） | 合奏Ｂ Ⅲ（ウインドアンサンブル） | 合奏Ｂ Ⅳ（ウインドアンサンブル） | 合奏Ｃ Ⅰ（ピアノデュオ） | 合奏Ｃ Ⅱ（ピアノデュオ） | 合奏Ｃ Ⅲ（ピアノデュオ） | 合奏Ｄ（リコーダーコンソート） | 和楽器演習 | 指揮法 | 作曲基礎理論Ⅰ | 作曲基礎理論Ⅱ | 和声学 | 作編曲法Ⅰ | 作編曲法Ⅱ | 音楽史 | 音楽学概説 | 中等音楽科教育法概説 | 中等音楽科教育法演習 | 音楽科授業実践演習 | 音楽科教育法特講 | 音楽科教育総合演習 | 声楽内容構成研究 | 器楽内容構成研究 | 音楽プロデュース論 | 卒業研究 |
|---|---|---

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［美術科教育専攻］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																														
				絵画基礎概説	彫刻基礎概説	デザイン基礎概説	工芸基礎概説	芸術学基礎概説	絵画概論	絵画実習Ⅰ	絵画実習Ⅱ	絵画演習Ａ	絵画演習Ｂ	彫刻概論	彫刻実習Ⅰ	彫刻実習Ⅱ	彫刻演習Ａ	彫刻演習Ｂ	デザイン概論	デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン演習Ａ	デザイン演習Ｂ	工芸概論	工芸実習	美術理論概説	美術理論実習	美術科教育法概説	美術科教育法演習	美術科教材研究	美術科授業研究	美術科内容構成研究Ａ	美術科内容構成研究Ｂ	美術科内容構成研究Ｃ	卒業研究
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																								○	○						
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																											○				
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。							○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○		○								○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○				○	○				○	○				○	○											○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																									○			○	○		
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																										○		○	○		
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																											○	○	○		
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。						○					○					○													○	○		
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																												○	○	○	
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。																												○	○	○	
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。																								○							
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																								○	○						
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																										○					
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																										○					
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																										○					
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																								○				○	○	○	
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																								○				○	○	○	
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。						○		○			○					○			○				○					○				○
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。						○		○			○					○			○				○		○	○	○	○				○